



- ・新規活動の創発
- ・さろんが企画するイベント（含：さろん哲学）への参加（任意）
- ・その他

※上記の業務はすべてを担っていただくわけではなく、  
さろん運営スタッフ内で分担して行っていきます。

《求める人材像》：

- ・「さろん」が好きで、これまでの「さろん」にない、けれども「さろん」らしい活動に積極的に取り組んで下さる方。
- ・スタッフ業務を大切に考えて下さり、協調性や公共心を発揮しながらも野心的に新しいことを企画、運営して下さる方。
- ・一般的な事務能力を有し、予算案策定などに貢献できる方。またはものづくりが好きな方。

《募集人員》：若干名

《募集期間》：2016年1～3月

《採用までの流れ》：

- ・メールにてお申込みください
- ・さろんスタッフによる面談
- ・後日、結果をご本人に連絡

《業務開始時期》：2016年4月～

お申込み、お問合せは下記までご連絡ください。  
みなさまからのメールをお待ちしております。

さろん salontetsugaku@gmail.com

---

---

## INDEX

- | 【おしらせ】 さろん運営スタッフを募集しています
  - | 【1】 誌上哲学カフェ「ミニさろん」第4回
  - | 【2】 コラム/エッセイ
    - ◇ 『個人的なエピソードについて思う』
    - ◇ 『語りた「なにか」が語られること』
  - | 【おしらせ】 「さろんラボ」アイデアを募集しています
  - | 【付録】 コトバをハーバリウムする
  - | 編集後記
-

## CONTENTS

### 【1】誌上哲学カフェ

#### 「ミニさろん」第4回

テーマ：目標を持っていた方がいいのか？

未来の世界からやって来た、ぼくドラえもん。

今まで、四次元ポケットからいろいろな道具を出しては、のび太君のピンチを見事に救ってきたんだ。

だけど最近、のび太君はどうも元気がない。ため息ついて考え込んでばかりなんだ。

「何か困りごとかい？ぼくにできることはある？」って尋ねても、

「タケコプターやどこでもドアで解決できるような問題じゃないんだよ・・・」なんて、大人びた答えが返ってくるばかり。

そうなんだ、ぼくが生まれた22世紀の世界でさえ、生きることに伴う問いや悩みは依然たくさんあって、それらを簡単に解決してくれる道具なんて発明されてはいないんだ！

いつもは真っ先にぼくに泣きついてくるのび太君だけど、今日は自分の気持ちを友達に話してみることにしたらしい。さて、どんな会話になっているのか、ちょっと覗いてみようか……。

テーマ「目標を持っていた方がいいのか？」

<のび太>

最近僕は何に対しても目標が持てなくて困っているんだよね。前は、「しずかちゃんと結婚する」とか「テストで100点をとる」「ドラえもんに迷惑をかけない」「クラスで花への水やり係になる」という目標を持っていて、それに向けて少しでも気持ちを奮い立たせたりしていたんだよね。遊んでばかりで勉強をしていなくても、“ようし今度こそ100点をとるぞ”って、目標があったから1時間位机に向かってみたり。でも、100点はいつまでもたってもとれないし、しずかちゃんと結婚もいつになるのか。水やり係にはこの前、僕がやることに決まって、そうしたら次やってみたいことも浮かばなくなっちゃって。目標がないから何に対しても力が湧かないんだよね。やっぱり目標があった方がやる気が起きていたなあ。

<ジャイアン>

しずかちゃんと結婚が目標だなんて、のび太のくせに生意気だぞ！でも、目標がある方がやる気が起きる、っていうのはたしかにその通りだな。俺様の目標はもちろん「偉大な歌手になって紅白歌合戦に出ること」だ。そのために日夜、歌の練習をしているし、曲だってじゃんじゃん作っ

るんだ。もちろん、定期的にジャイアンリサイタルも開いて、俺様の熱狂的なファンであるのび太やスネ夫たちへのファンサービスも忘れちゃいない。有名な歌手になった時のために、サインの練習だって怠らないぞ。そうやって着々と紅白出場への階段を登っている俺様だが、ひとつ悩みがある。最近唄っていてもあまり楽しくないんだ。昔はよくひとり風呂場で好きな歌を唄っては、自分の美声に酔いしれたものさ。唄うこと自体が大きな生きが이었다。でも今は、それが「有名な歌手になる」という目標を叶えるための手段のようになってしまっていて、心から純粋に楽しめないんだ。目標のために一生懸命に頑張ることでかえって喜びがしぼんでしまうのなら、目標なんて無いほうがいいんじゃないのか？

<しずか>

けっ、結婚なんて、まあのび太さんたら…。問いは目標を持った方がいいかどうかね。のび太さんは「目標がないと何に対しても力が湧かない」と言う一方、武さん(=ジャイアン)は「(目標を意識すると)目標を叶えるための手段のようになってしまっていて、心から純粋に楽しめない」と言うのね。困ったわ…。えっと、手段というのは、目的を実現するためにとる方法ね。ちょっと待って、目標と目的は違うわ。目的は「成し遂げようとするこゝら」で、目標は(その)目的を達成するために設けためあてのこと\*1 だったはず。目的を持つべきかどうかは分からないけど、めあては、自分がいる場所や向かいたい方向を知るためにあるんじゃないかしら。でも問題は、目標を意識し過ぎるとそれ以外の全てが手段にしか思えなくてつまらなくなっちゃうから、どこを向いているかを知るためくらいに気軽に考えて、毎日の生活や小さな生きがいの一つひとつ大事に思って過ごせばいいんじゃないかしら。

\*1) 「目的と目標の関係」: Wikipedia : 目的

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%9B%AE%E7%9A%84>

---

## 【2】コラム/エッセイ

▽【個人的なエピソードについて思う】 聖理

▽【語りたい「なにか」が語られること】 セリンジャー

---

▽【個人的なエピソードについて思う】 聖理

高橋みなみ氏はこう述べる\*1。「相談された時は、強さではなく、弱さを見せることも大事だと思います。人の弱さを知ると自分の弱さも出しやすくなるし、『この人は私にそんな話をしてくれているってことは、信頼してくれているんだな』と感じてもらえることになる。メンバーに注意しなければいけない時も、私はまず、自分のできていないところを先に言います。『この間のライブの冒頭で、振りをミスっちゃってさ。気づいた?』と話を振って、相手の気持ちをちょっとくすぐってから『ちょっと気になることがあるんだよね』という話をする。相手のできていないところばかりを一方向的に言い放つたら、ムカ

ついちゃって、聞く耳を持ってもらえないと思うんです」。

Google 等の世界的企業でプレゼンテーションのコーチングを行うカーマイン・ガロ氏はこう述べる\*2。「TEDには、聴衆を惹きつけ、人の心を動かすプレゼンのアイデアが詰まっています」。一例としてビル・ゲイツ夫妻による「富を贈ることが最高の喜び」を挙げ、「個人的なエピソードを織り込もう」と勧めている\*2。「ゲイツ夫妻はその後も、普段の夫婦の会話や子育てなど公の場ではあまり語らないような話題を交えながら話を続けた。そのせいで聴衆は深刻になりがちな慈善事業の話も興味深そうに聞き入っていた。プレゼンの際に個人的なエピソードを加えると、聞き手の共感を誘い、話に引き込むことができるのだ」。

哲学対話においても個人的なエピソードは時に哲学的思考を裏付ける。「大人がいい？ こどもがいい？」\*3。先月のこどもとの哲学対話前半は「こどもがいい」派が多かった。主な理由は「大人と比べこどもの方が未来の時間が多い」「大人はお金を家族や家のことにも使わないとならないが、こどもは自分のためだけに使える」等。筆者は訊いてみた。「僕（＝大人）は毎晩好きなアイスクリームを食べるが羨ましくない？」。すると、一斉の反論に合った。「そんなことをしたら太るし体に良くない」「体に悪いと分かっている止めないことは悪い」「悪いことをしようと思わないから羨ましくない」。対話を深める意図から個人的なエピソードを挙げた結果、その場のこどもから少しの信頼を得て、関心も引いたかもしれないが、思考の裏付けとはならなかった個人的なエピソードである。

\*1) 高橋みなみ著：「リーダー論」

\*2) カーマイン・ガロ著：

「TEDのベスト・トークに学ぶ聞く人の心を揺さぶる『伝えかた』」  
クーリエ・ジャポン 2015.7 Vol.128

\*3) めぐる子育てマップ隊主催「こども哲学 おとな哲学ワークショップ」

<http://sukunavi.megurokodomono.net/event-docs/2016020200014/>

---

▽【語りた「なにか」が語られること（対話の余白から#05）】 セリンジャー

直近のさろん哲学（哲学カフェ）のテーマがなんだったか、覚えていますか。テーマは「自明であるとはどういうことか？」でした。ここで質問です。あなたご自身が哲学カフェの進行役だったとしたらこのテーマをどう調理しますか？——このテーマからどんな対話を引き出したいと考えるでしょうか。あるいは、このテーマで語る時に絶対に触れたいポイントはどこでしょうか。

これが学校の授業だったら、《前回の授業で学んだ内容について復習するところから始まった。「ここのところずっと、『正しい知識を得るには？』という問いについて考え

てきて、先週は『帰納法』と『演繹法』についてやりました」と、まずは先生が立ち上がり、黒板を指しながら解説する。(略)「具体的な事例をいっぱい集めてきて正しいことが分かる、というのが『帰納法』だよね。でも、全てを調べきれないから100%正しいと言えないのが弱点。一方、『演繹法』では、数学の公式みたいに絶対正しいと分かっていることが先にあって、そこから問題を解いていく、というやり方。でも、公式が間違っていたら答えも間違えちゃう。じゃあ、絶対確実なことって何だろう？このことを考えたのがデカルトでした」。≫\*1 なんていう風に、前回までの復習から入るやり方もできるかもしれません。

ですが市民が主催している哲学カフェの多くは一回単発の内容です。一期一会の参加者たちのあいだで「(哲学的) 対話」が出来上がるような工夫が求められます。参加者の中から語りを引き出し、一つ一つの語りに真剣に耳を傾け、語りに対する有機的なレスポンスを積み重ねていくことがたいせつになっていきます。その為に、進行役はその人の個性や考えに応じていろいろな試みをします。茶道の言葉を借りれば「一座建立」のために、です。そのやり方はさまざまです。全員でテーマの意味が肚に落ちるところまで細かくかみ砕いてみたり、テーマを挙げた理由を提起者の語りの中に求めてみたり。テーマに関連する短いエッセイやコラムなどをみんなで読んでみたり、テーマをさらに身近なものにするためにより卑近な例に落とし込んでみたり。哲学対話の主目的は健全に対話を組み立てることで、決して偉人の考えを習ったり復習したりすることにはありません。それらは必要に応じて適宜注釈がなされる程度です。

では、「必要に応じて」とはどういうことでしょうか。参加者の語りの中から「ふだん考えたり思ったりしているようなこと」とテーマが結びついたときに、「その前提となっている考え方を哲学者の誰それは〇〇と語っていて…」という風に、哲学史の知識と参加者の経験が重なり合っている点はまさにここですよ、と指し示すことかもしれません。いずれにせよ哲学対話のメインは対話を引き出し、対話の積み重ねに従って参加者の思考が深まっていくことが期待される点にあります。

ケアについて専門的に考える哲学カフェや、特定の背景を持った哲学カフェなどでは、参加者の発話がよりパーソナルな心情や体験を伴う場合もあります。しかしそうしたケースでは、語ることの意義がニュートラルな哲学カフェよりもいっそう真に迫って来るように感じられる場合もあるのです。こんな文章をご紹介したいと思います。ある方がいわき市での哲学カフェに参加された時の体験を綴ったものです。≪「デートに行くときには、女性を海に誘ったものだった。でも、いまでは、まだ、海を信じることができない」／老齢の先生が語ってくれた言葉が忘れられない。私が最初に震災を実感した瞬間だった≫\*2。文章はこのように書き始められ、「老齢の先生」の「語り」の意味についてこう結論付けます。≪「悲しい」という言葉でさえも悲しみを表現することはできないだろう。「悲しみ」は「海を信じることができない」という「語り」のなかに込められる。「物を語ること」は私たちが生きるために必要な営みなのだ≫\*2、と。

先日ある物語を読んでいて語りについて思うことがありました。一人の女性が登場します。彼女は夫の仕事のためにシドニーに移住しそこで女の子を授かるのですが、不慮の

事故から1歳2ヵ月という若さで亡くします。彼女は哀しみにとらわれますが、現地の大学で課されたレポートに向き合っています。レポートは「印象派とオリエンタリズム」なんて使い古されたテーマ\*3のもので、彼女はこのレポートと向き合うことがある種の慰めにもなっている様子で、「娘がいなくなって、私にはなにも残っていないと信じていたのに、先生のおっしゃるとおり書くことが残っていました。論文といういづれ干物になる運命のものであることだし、何世紀か前の乾いた材料を使うので気が楽で、しかも英語だと主語と述語の距離が近いこともあって大胆になれます」と語っています。けれどその一方で、彼女には疑問も生じてきます。「この作業をしているときだけ、娘のことを考えておらず、思考と肉体が一致していると感じられるのです。しかし、私は本当にこの言葉で思考できているのでしょうか」と。

娘を失った直後の彼女にとって「印象派とオリエンタリズム」という論文の執筆は「乾いた材料」、つまり生臭い現実とかけ離れたものです。だからこそ辛いことから一時距離を取る効果もあったので、ほかならぬ彼女自身が、それは逃避であることに気付いて立ちどまります。「私は本当にこの言葉で思考できているのでしょうか」という疑念は、彼女にとってもっとも大切なのは娘を失った悲哀をそのまま語り直す言葉を探ることなのです。その後彼女は、改めて「書くこと」に向き合い、そして物語を紡ぐに至りました。そして彼女が語り直した彼女自身の物語——それは、その語り直し自体が作中作となっているメタ小説という形態でした。そして彼女にとってはそれが自然であり、必然でもあったのです。

\*1) 「デカルトみたいにとりあえずなんでも疑ってみよう」

自分の言葉で「哲学」する力を育む「哲学対話」 一前編

<http://manabilab.jp/article/1084>

\*2) 河島思朗「物を語ること」(『地中海学会月報』2015年1月, 376号)

[http://www.collegium-](http://www.collegium-mediterr.org/report/2015%E5%B9%B4%E6%9C%88%E5%8F%B7/)

[mediterr.org/report/2015%E5%B9%B4%E6%9C%88%E5%8F%B7/](http://www.collegium-mediterr.org/report/2015%E5%B9%B4%E6%9C%88%E5%8F%B7/)

\*3) 岩城けい『さようなら、オレンジ』(ちくま文庫、2015)

---

【おしらせ】

「さろんラボ」ではみなさんのやる気とアイデアを募集しています♪

---

名称:【さろんラボ】

コーディネーター:【大村】

「さろんラボ」、常設しています。

このさろんラボではみなさんの「やってみたい」を核に、

「さろん」を触媒にして、

どんな化学変化が起きるかを試みる場所です。

さろんラボは当面継続して設けていきます。

この「さろんラボ」からは、さろんの参加者の手で、

【さろんラボ 001】 「あたまの中を散歩するてつがくカフェ」が生まれ、

【さろんラボ 002】 「哲学カフェ Ante-table/アンティ・テーブル」も進行中です。

既存の哲学カフェのカタチに限定せず、

みなさんの中で温まっている関心ごとやご興味を添えて、

どうぞお気軽に下記までご連絡下さい。

みなさんとの新しい化学変化を、スタッフ一同心から楽しみにしています。

▽詳細はこちらまで

salontetsugaku@gmail.com (担当：大村)

---

## 【付録】

---

コトバをハーバリウムする

---

本のコトバから #05

---

「知らない単語は、この世界にわたしの知らないことがたくさんあることを思い出させてくれる。(…)

人生を変えることができるものは、常に自分以外のところにあると思う。」

——ジュンパ・ラヒリ『べつの言葉で』

---

歌のコトバから #05

---

「岬めぐりのバスは走る 窓にひろがる 青い海よ  
悲しみ深く 胸に沈めたら この旅終えて 街に帰ろう」

——山本コータローとウィークエンド『岬めぐり』(作詞：山本路夫)

---



---

【さろん】 イベントカレンダー <http://salon-public.com/> ご予約受付中

---

▽ 【さろん哲学】 哲学カフェ

3/19(土)15時 - 17時@外苑前 / テーマ「アクション映画の映画らしさ」

▽ 【夜さろん】 読書会+対話

4/2 (土) 14時 - 17時@渋谷 / 『あこがれ』川上未映子

▽ 【朝さろん】 読書会

4/14 (木) 7時 - 8時@渋谷 / 『硝子戸の中』夏目漱石

---

編集後記

---

メールニュース第63号をお届けします。

本年一月から掲載してきましたスタッフ募集記事も今号で一端終了です。  
ご興味ご関心のある方、この機会にぜひお問合せください。  
スタッフ一同お待ちしております。

さて今号はひさしぶりに誌上哲学カフェ「ミニさろん」を掲載しました。  
今回はドラえもんの世界観で構成されています。  
お楽しみいただければ幸いです。  
ご感想（突っ込み?）もお待ちしております。

今週土曜は例会です。テーマは「アクション映画の映画らしさ」。  
まだ残席がありますので、検討中の方お気軽にお申込みください！

それではまた次号でお会いしましょう。  
編集: (フクロウ)

さろん | Mail News 2016/3/15  
⇒次号 (4月1日発行予定)

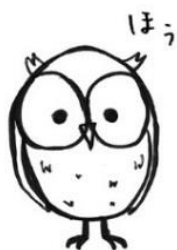
---

---

さろん Mail News 第63号 / 2016年3月15日発行  
編集・発行: さろん  
[salontetsugaku@gmail.com](mailto:salontetsugaku@gmail.com)  
<http://salon-public.com/>  
<https://twitter.com/salontetsugaku/>

---

- ◇ 「さろん」にお知らせいただいたお名前・メールアドレスなどの個人情報は、  
当会からのご案内のためだけに使用いたします。  
また、ご本人の同意なく第三者への提供はいたしません。
- ◇ 「Mail News」の無断転載はご遠慮ください。 転載ご希望の場合はご連絡願います。  
バックナンバーはHP からご覧いただけます。
- ◇ 【さろんツイッター】 <https://twitter.com/salontetsugaku>
- ◇ 【さろんパブリック】 <http://salon-public.com/>
  - 「さろん哲学」 Web サイト <http://salon-public.com/tetsugaku/>
  - 「朝さろん」 Web サイト <http://salon-public.com/asa/>
  - 「さろん工房」 Web サイト <http://salon-public.com/koubou/>



"copyright (c) 2011-2016 さろん. All rights reserved."

---